

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	観光振興一般管理費
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	3	93		93			93	90
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	3	93		93		93	90

事業概要	観光振興一般管理費(事務費及び材料費)	今年度見直し事項	
事業目的	観光振興に係る経費		
現状と背景		その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	観光情報発信事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	366	286		286			286	80
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	366	286		286			286

事業概要	境港市観光ガイド(海外旅行社向け)の作成	今年度見直し事項	
事業目的	海外からの誘客を図るために、鳥取県の海外観光PR活動及び本市への訪問取材の際に配布し、境港市の情報発信を行う。		
現状と背景	鳥取県においては台湾において漫画王国「鳥取」をPRし、観光客の受入に取り組んでいる。本市としても「水木しげるロード」を台湾にPRし、台湾からの観光客誘致に取り組む必要がある。		
		その他	平成21年度鳥取県海外出展予定回数 韓国(年7回)・台湾(年4回)・その他(年1回)

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	とっとりコンベンションビューロー補助金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	1,087	1,188		1,188	7		1,181	94
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	1,087	1,188		1,188	7		1,181

事業概要	とっとりコンベンションビューローの誘致事業費(誘致事業、調査企画事業、広報宣伝事業など)の1/2を鳥取県が負担し、残り1/2を県内四市で負担する。	今年度見直し事項	
事業目的	コンベンションの誘致促進により県内の産業・観光振興、交流人口の拡大を図る。		
現状と背景	とっとりコンベンションビューローは平成7年度に鳥取県内での会議等の開催誘致、会議の運営サポートを目的に設立された。 平成19年度誘致実績 コンベンション開催件数141件 参加人数41,355人 経済的波及効果350,400千円	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	境港市観光協会補助事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	26,623	26,536		23,873	2,500		26,373	250
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	26,623	26,536		23,873	2,500		26,373

事業概要	境港市観光協会の人件費、企画・宣伝事業費、案内所運営費及び公共マリーナ利用促進事業費について、5～10割を補助。	今年度見直し事項	
事業目的	境港市観光協会の事業を通じ、本市観光の情報発信、観光客の受入事業の充実等観光振興を図る。		
現状と背景	人件費及び公益的事業については一定の割合で補助を行い、収益事業については裁量の幅を広げることにより、観光協会のインセンティブを高め、融通の効く事業展開及び質の高いサービス提供の実現をめざす。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	みなとまち商店街運営費補助金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	15,002	14,578		14,576	474		15,050	48
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	15,002	14,578		14,576	474		15,050

事業概要	境港市をはじめ鳥取県、中海圏域の物産の展示販売を行う物産観光センター(みなとまち商店街)の管理運営費	今年度見直し事項	
事業目的	物産観光センター(みなとまち商店街)の管理運営を境港市観光協会に委託し、境港市をはじめ鳥取県及び中海圏域の名産品の販売、全国への情報発信を行い地場産品の振興を図る。		
現状と背景	平成10年に夢みなとタワー内に鳥取県の物産販売の拠点としてみなとまち商店街はオープンした。境港市は鳥取県から受託した管理運営を観光協会へ委託し、水木グッズや地場産品の販売を行い、夢みなとタワーの集客に努めている。販売収入に対する人件費等販売経費の不足分を補助金として支出している。	その他	市は建設費負担金約4億6千万円を管理運営費としてを20年間負担(平成21年度で11年目)する。

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	財政課
事業名	水木しげる基金積立金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	45	15		15			15	30
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	45	15	15			15	30
	一般財源	0	0	0			0	0

事業概要	境港市のまちづくりの中で、水木しげるロードや記念館など水木しげる関連事業の促進等を応援したいと思われた個人又は団体からの寄附金などを、水木しげる基金に積み立てるものだが、当初予算では、基金の運用収入(預金利子)のみを計上している。 (参考)平成19年度末基金現在高 約2,120万円	今年度見直し事項	
事業目的	水木しげる関連事業への指定寄附金等を水木しげる基金に積み立て、水木しげる関連事業の促進等を願う方々の意思の尊重と水木しげる関連事業の安定的な実施を図る。		
現状と背景	境港市水木しげる基金は、水木しげる関連事業の促進及び振興を図るため平成7年度に設置している。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	米子空港タ - ミナル物産観光PR事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	1,134	1,134		1,134			1,134	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	1,134	1,134		1,134			1,134

事業概要	米子空港ビル2階出発路ロビーの電照広告パネル設置料。	今年度見直し事項	
事業目的	東京、名古屋便やソウル便により境港市を訪れる空港利用者に対して境港市のPRを行う。		
現状と背景	米子空港では、現在、滑走路2,500m延長事業(平成21年度供用開始予定)に着工中。空港の利便性が向上され、利用客の増加が見込まれている	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	観光案内所運営事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	1,460	1,398		1,398			1,398	62
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	1,460	1,398		1,398			1,398

事業概要	みなとさかい交流館内に市が設置する境港市観光案内所の維持管理費。	今年度見直し事項
事業目的	市内及び周辺観光の案内・紹介などを通じ観光客のさまざまな観光ニーズに対応するとともに、おもてなし及び観光客の利便性の向上をはかる。	
現状と背景	観光客等への観光案内、ホームページの管理運営、物販・レンタサイクル等のサービスを行っており、水木しげるロードの入込客数の増加により、問合せ件数、ホームページアクセス数ともに年々増加傾向にある。 平成19年度問合せ件数85,056件/年(233件/日)	その他

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	美保湾展望駐車場管理事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	859	844		844			844	15
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	859	844		844			844

事業概要	美保湾展望駐車場の光熱水費及び植栽管理等の維持管理費。	今年度見直し事項	
事業目的	弓ヶ浜の海浜利用、公共トイレ及び休憩場所としての利便性の向上を図る。		
現状と背景	平成8年度に展望駐車場として国道431号線沿に鳥取県が設置。境港市と鳥取県で維持管理。年間を通じてトイレ・休憩場所としての利用があり、特に夏場には海浜利用が多い。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	Sun-inビーチバレー大会支援事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	1,000	900		900			900	100
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	1,000	900		900			900

事業概要	全国ビーチバレー協会公認のビーチバレー大会の開催事業費に対する補助。	今年度見直し事項	平成20年度予算額から1割削減
事業目的	三方を海に囲まれた自然を活かして全国規模で行われる大会を通じた境港市のPR及び市内小学生を対象に行われるバレー教室による競技の普及。		
現状と背景	平成21年度で第22回目の開催となるビーチバレー大会であり、全国最大規模の全国大会として定着。毎回、県外から多数の参加者があり、期間中は宿泊・飲食などの経済効果がある。 平成20年度実績 参加者数528人(うち山陰以外368人)	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	水木しげる記念館運営事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	64,058	58,004		56,777	140		56,917	7,141
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	64,058	58,004	56,777	140		56,917	7,141
	一般財源	0	0	0			0	0

事業概要	水木しげる記念館の運営管理経費。	今年度見直し事項	管理委託費の複数年契約等による経費節減
事業目的	「水木しげるロード」と「水木しげる記念館」により観光客誘客を図り地元観光産業の振興に資する。		
現状と背景	境港市出身で全国的な著名人である水木しげる氏の作品及び足跡、世界観を広く紹介する「水木しげる記念館」は平成15年3月8日(水木しげる氏81歳の誕生日)に合わせてオープン。 平成20年度、1階展示替及び音声ガイド整備(5ヶ国語)を実施し、国内外の誘客対策を強化。 平成19年来館者数274,638人/年(平成18年198,694人/年)	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	妖怪そっくりコンテスト補助金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	1,300	1,200		1,200			1,200	100
財源内訳	国							0
	県	0		600			600	600
	市債							0
	その他							0
	一般財源	1,300	1,200		600		600	700

事業概要	全国から水木しげる氏の描く妖怪のそっくりさんを募集し、そっくり度やパフォーマンスを競うコンテストの開催補助金。	今年度見直し事項	平成20年度予算額から1割削減
事業目的	参加者募集やマスメディアによる全国に向けた情報提供を通して、境港市のPR及び誘客促進を図る。		
現状と背景	平成18年に江島大橋開通を契機に周辺観光施設で実行委員会が組織され、連携事業として開催されている。 平成20年度実績 参加組数21組(3歳～60歳) 来場者数のべ500人	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	河童の泉管理事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	358	270		270			270	88
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	179	153	153		2	151	28
	一般財源	179	117	117		2	119	60

事業概要	「河童の泉」の維持管理に係る光熱水費及び点検委託料等。	今年度見直し事項	
事業目的	「河童の泉」の維持管理を官民協働で取り組むことにより、住民の参画意識の高揚を図る。		
現状と背景	平成20年3月に水木しげるロードのポケットパーク内に新たな観光スポットとして整備。維持管理及び経費負担を、水木しげるロード振興会とともに、官民協働で行っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	ゲゲゲの鬼太郎ゲタ飛ばし大会開催支援事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	100	90		90			90	10
財源内訳	国							0
	県	0			45		45	45
	市債							0
	その他							0
	一般財源	100	90		90	45		45

事業概要	境港青年会議所が観光振興イベントとして開催する「ゲタ飛ばし大会」の会場設営及び広告宣伝に係る経費に対する補助。	今年度見直し事項	平成20年度予算額から1割減
事業目的	境港市、水木しげるロードを全国に向け情報発信を行うこのイベント開催を支援することにより、境港市の観光振興を図る。		
現状と背景	今年で第10回を迎えるこの大会は境港青年会議所のまちづくり事業のひとつ。ゲタ飛ばしという単純明快な競技であり、老若男女を問わず、多数の参加があるほか、運営に多くの市民がボランティアスタッフとして参画している。マスコミ等を通じて境港市の情報発信・PRにも寄与している。平成20年度参加者数延べ1,300人	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	山陰観光連盟会費
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	190	190		190			190	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	190	190		190			190

事業概要	山陰地方への観光客誘致を図るためにポスターや観光パンフレットの作成・配布、ソフト事業を行う山陰観光連盟の会費。	今年度見直し事項	
事業目的	境港市へのアクセス手段のひとつであるJR境線の利用増及び観光誘客を図る。		
現状と背景	昭和37年に結成され、事務局はJR西日本米子支社内に設置。「山陰旅図鑑」(年4回・28,000部)の京阪神・山陽・四国主要駅への配布や鉄道を用いた商品開発など、JR西日本のネットワークを活かした誘客事業を展開している。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	観光案内看板設置負担金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	80	80		80			80	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	80	80		80			80

事業概要	国道431号線沿いに、隠岐島と本土を結ぶ交通手段として高速船レインボーの利用促進を図るために設置した広域案内誘導看板の土地借上料の一部を負担。	今年度見直し事項	
事業目的	高速船レインボーの本土寄港地である境港市(境港)及び松江市(七類港及び加賀港)への利用客の円滑な誘導案内。		
現状と背景	平成11年度、国道431号線沿い(日吉津村)に、美保関、島根町とともに高速船レインボーの寄港地への案内看板を設置。平成17年の市町村合併以降は、松江市と境港市による設置に変更。(松江市2/3 境港市1/3)	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	鳥取県観光連盟会費
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	679	679		679			679	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	679	679		679			679

事業概要	観光プロモーターを活用した観光客誘致対策を中心に、鳥取県内の観光振興及び地域の活性化を図っている観光連盟の会費。	今年度見直し事項	
事業目的	同連盟が取り組む観光素材提供や、商品造成化やおもてなし講座などにより、誘客及び情報発信、観光従事者のスキルアップを図る。		
現状と背景	平成4年設立。関東、中京、関西圏、中四国・九州担当観光プロモーターが、旅行社に商品造成を働きかけ観光客誘致に取り組んでいる。また、「山陰観光キャンペーン」やwebを利用した観光素材提供などの情報発信を行っている。平成20年度観光連盟会員数157団体(境港市7団体加盟)	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	みなと祭実行委員会補助金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	4,900	4,500		3,200	1,300		4,500	400
財源内訳	国							0
	県	0		1,600	650		2,250	2,250
	市債							0
	その他							0
	一般財源	4,900	4,500		1,600	650		2,250

事業概要	毎年7月下旬に開催される「みなと祭」及び前夜祭の「境港妖怪ジャズフェスティバル」の開催支援補助金。	今年度見直し事項	平成20年度予算額の1割減
事業目的	観光振興や地域の文化継承に加え、「美保湾体験クルーズ」など協賛事業も数多く実施し、境港青年会議所など多くの団体がボランティア参加し、住民参画の気運を高める。		
現状と背景	平成21年度で64回目を数える。当日は大漁祈願祭を皮切りに、踊りパレード、お祭広場の各種イベントなどに加え花火大会を開催。前日は前夜祭として第8回「境港妖怪ジャズフェスティバル」を開催する予定。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	桜まつり実行委員会補助金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	480	450		450			450	30
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	480	450		450			450

事業概要	台場公園及び中浜サントピアで開催される桜まつり開催事業費に対する補助。	今年度見直し事項	平成20年度予算額から1割減
事業目的	観光客の誘客を図り、本市文化・観光の活性化を図る。		
現状と背景	桜まつりは台場公園及び中浜サントピアの2カ所で毎年開催。期間中、ステージイベントやグランドゴルフ、ゲートボール大会など各種イベント、夜は雪洞によるライトアップを行っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	境港妖怪検定補助金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	500	450		450			450	50
財源内訳	国							0
	県	0		225			225	225
	市債							0
	その他							0
	一般財源	500	450		225			225

事業概要	境港市出身の水木しげる氏の妖怪に関する考察をもとに、ご当地検定として境港商工会議所が開催する「境港妖怪検定」に対する補助。	今年度見直し事項	平成20年度予算額から1割減
事業目的	「境港妖怪検定」を通じて「さかなと鬼太郎のまち境港」を本市の観光イメージとして全国に普及、浸透させ、文化・観光の振興を図る。		
現状と背景	平成18年からご当地検定として開催され、毎回、県内外から多くの受験者が集う。平成19年度以降、初級に加えて中級の検定が実施されている。平成20年度受験者数 延べ520人(うち県内43人)。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	大山山麓観光推進協議会負担金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	157	157		157			157	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	157	157		157			157

事業概要	大山山麓エリアに位置する鳥取県西部の9市町村等で組織された協議会が実施する広域観光振興事業や周遊滞在型の観光地形成事業、その他各種イベントに係る経費の負担金。	今年度見直し事項	
事業目的	大山周辺の官民による情報発信事業やイベント事業を通じ、広域観光の振興や周遊滞在型観光地の形成をめざす。		
現状と背景	平成15年度設立。ウェブサイト「大山王国」や広域観光マップ「山陰遊悠絵図」、情報誌「See!」による情報発信、大山ミュージックリゾート推進事業など、大山周辺への誘客を図っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	中海・宍道湖・大山圏域観光連携負担金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	500	500		500			500	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	500	500		500			500

事業概要	中海・宍道湖・大山圏域を一体的な経済・観光圏として捉え、情報発信、湖面活用、産業観光ネットワーク戦略など広域観光を推進するために組織された協議会に対する負担金。	今年度見直し事項	
事業目的	中海・宍道湖・大山圏域が連携を図り観光客の滞在期間の延長を促し、圏域の経済・文化・観光の振興・発展を図る。		
現状と背景	平成17年度に中海周辺四市の行政、商工団体等により設立。水面活用委員会をはじめ4つの委員会によりポータルサイトの開設や松江市 - 境港市間を結ぶ「中海遊覧船」運航など、広域観光事業を展開。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	本町アーケード利用者負担金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	248	248		248			248	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	248				248	248	0
	一般財源	0	248		248		248	0

事業概要	本町アーケードの維持管理に係る経費及び電灯料について、水木しげる記念館の利用分を負担する。	今年度見直し事項	
事業目的	本町アーケードの維持管理。		
現状と背景	平成15年3月から本町アーケード商店街の一員としてアーケードの維持管理費を負担。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	観光圏整備事業(案内看板整備事業)
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	479		479			479	479
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	479		479			479

事業概要	水木しげるロード3ヶ所(駅前、河童の泉、アーケード入り口)に案内看板(日本語・英語・韓国語・中国語・台湾語・ロシア語)を設置する境港市観光協会に対する補助。	今年度見直し事項	
事業目的	水木しげるロードに「観光圏整備実施計画」を活用し、案内看板を設置することにより観光客の利便性の向上を図り、観光地としての魅力を高める。		
現状と背景	国においては観光立国を推進し経済の活性化等を図るため、平成20年10月観光庁を設立し、全国16地域をの対象地域として認定した。石見～湯梨浜エリアのエリアが「山陰文化観光圏」として認定され、観光圏整備による観光客の滞在長期化の取り組みを行っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	環日本海定期貨客船受入体制整備事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	8,049		1,176	498		678	678
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	8,049		1,176	498		678

事業概要	環日本海定期貨客船を利用して境港市を訪れる外国人観光客向けに外国語パンフレットを作成するとともに、フェリーターミナルからJR境港駅を結ぶシャトルバスを運行し外国人観光客の利便性向上を図る。	今年度見直し事項	
事業目的	外国語パンフレット作成、シャトルバス運行により外国人観光客の利便性向上を図る。		
現状と背景	東海市(韓国)とウラジオストク市(ロシア)と境港市を結ぶ国際定期貨客船航路が平成21年2月に開設。国際定期貨客船航路を維持、発展させるためには韓国、ロシアからの観光客のおもてなし等受入体制を整備し、誘客を積極的に行う必要がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	水木しげるロードトーテムポール設置事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	1,000		0			0	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	1,000		0			0

事業概要	水木しげるロード振興会が設置するトーテムポール(ウエルカムゲート)に助成を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	水木しげるロードに官民が協力しトーテムポール(ウエルカムゲート)を設置しロードの魅力アップを図り、更なる観光客の誘客を図る。		
現状と背景	平成10年度に商店街活性化基本計画(水木しげるロード街並み整備計画)を策定。「水木しげる記念館」以外は民間が順次整備を進めることされた。この計画に基づき平成12年1月「妖怪神社」がまちづくり会社「アイズ」により整備された。「河童の泉」については、市が平成19年度に財団法人日本宝くじ協会の助成を受け整備を行った。	その他	設置費用総額 3,000千円 市 1,000千円(1/3) 水木しげるロード振興会 2,000千円(2/3)

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	観光圏整備事業(人材育成事業)
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	108		108			108	108
財源内訳	国	0						0
	県	0						0
	市債	0						0
	その他	0						0
	一般財源	0	108		108			108

事業概要	観光客へのおもてなしの充実を図るため山陰文化観光圏整備実施計画に基づき観光客受入体制の整備を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	山陰文化観光圏整備実施計画に基づき人材育成を行う境港市観光協会に経費の一部を補助し、観光客への「おもてなし」の充実を図り、更なる誘客をはかることを目的とする。		
現状と背景	国においては観光立国を推進し経済の活性化等を図るため、平成20年10月観光庁を設立し、全国16地域を観光圏整備実施計画の対象地域として認定した。「中海・宍道湖・大山」を中心とするエリアは「山陰文化観光圏」として認定され観光圏整備による観光旅客の滞在長期化の取り組みを行っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	観光圏整備事業(レンタサイクル整備事業)
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	108		108			108	108
財源内訳	国	0						0
	県	0						0
	市債	0						0
	その他	0						0
	一般財源	0	108		108			108

事業概要	観光客受入体制の充実を図るため、山陰文化観光圏整備実施計画に基づきレンタサイクルの整備を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	レンタサイクルの整備、自転車による市内周遊モデルコースの作成により、旅行者の利便性向上及び市内回遊性の向上を図る。		
現状と背景	国においては観光立国を推進し経済の活性化等を図るため、平成20年10月観光庁を設立し、全国16地域を観光圏整備実施計画の対象地域として認定した。「中海・宍道湖・大山」を中心とするエリアは「山陰文化観光圏」として認定され観光圏整備による観光旅客の滞在長期化の取り組みを行っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	観光圏整備事業(二次交通整備事業)
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	214		214			214	214
財源内訳	国	0						0
	県	0						0
	市債	0						0
	その他	0						0
	一般財源	0	214		214			214

事業概要	観光客の利便性向上を図るため、山陰文化観光圏整備実施計画に基づき市内二次交通の整備を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	観光繁忙期において、市内交通拠点(JR境港駅、米子空港等)と観光拠点(水産物直売施設、夢みなと公園等)を結ぶシャトルバスを運行する財団法人鳥取県観光事業団に経費の補助を行うことにより、観光客の市内回遊性を高め市内滞在時間の延長を図ることを目的とする。		
現状と背景	国においては観光立国を推進し経済の活性化等を図るため、平成20年10月観光庁を設立し、全国16地域を観光圏整備実施計画の対象地域として認定した。「中海・宍道湖・大山」を中心とするエリアは「山陰文化観光圏」として認定され観光圏整備による観光旅客の滞在長期化の取り組みを行っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費

所管課	通商課
事業名	観光圏整備事業(松江 境港シャトルバス運行事業)
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	310		310			310	310
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	310		310			310

事業概要	9月～11月に運行が予定されている中海遊覧の運行にあわせて、松江市と境港市を結ぶシャトルバスを運行する。	今年度見直し事項	
事業目的	松江-境港シャトルバス運行により中海圏域における二次交通の充実を図り、観光客の利便性向上を図る。		
現状と背景	観光を中心とした中海圏域の連携が進む中、二次交通の整備が圏域の課題とされている。圏域への誘客、滞在の長期化を促進するためには、国の観光圏整備事業を活用し二次交通の整備を図る必要がある。	その他	